

# 恒例！夏休み底生動物調査

日時：2018年8月12日(日) 午後1時～5時

集合場所：深泥池南岸の作業小屋前（午後1時～）  
深泥池会館（午後3時～）

池の中に住む生き物を1時間半ほどかけて採り、その後は深泥池会館で名前調べをします。今年で21年目を迎え、長期にわたる池の生き物の変化を知ることができます。

小学生からお年寄りまで、どなたでも参加できます。

天然記念物の生物に触れることのできる数少ないチャンスですので、お誘い合わせの上お越しください。夏休みの思い出作りや自由研究の題材にも。

今年は、1) 外来魚駆除の効果、2) 日陰と日向の水生動物の種組成の違い、3) オオバナイトタヌキモ除去やジュンサイ間引きの効果も目的に加えて調査をします。

※雨天決行(当日9時の時点で暴風警報が出た場合は中止)

※水に入れるよう、ぬれても良い格好でお越しください。

(長靴やシューズを水没させるのが安全です。裸足は避けてください。)

※雨天の場合は、両手を使えるようにレインコートを着用して下さい。

※熱中症対策として、帽子や飲み物をお持ちください。

※日陰では蚊に刺されやすいので、長そでや虫よけスプレーをご用意ください。

深泥池では1970-80年代にオオクチバスとブルーギルが侵入した結果、在来動物の多くが絶滅や減少してしまいました。このため、京都市文化財保護課では、1998年からオオクチバスとブルーギルの駆除事業を実施しています。深泥池水生生物研究会ではその効果を知るため、毎年夏休みに底生動物群集のモニタリング調査を行っています。8年前の2010年からは、樹木で覆われた場所と公園前のオープンな場所の違いを知ることも目的に加えた調査を実施しています。また、4年前にオオバナイトタヌキモが大繁殖した結果、水生動物の種数が減少したため、3年前からオオバナイトタヌキモの除去も実施しています。さらに近年繁殖しすぎているジュンサイの間引きも開始しました。

# 恒例！トンボ観察会

日時：2018年8月19日(日) 午前10時～12時

集合場所：深泥池南岸の作業小屋前

池で見られるトンボを観察しながら、名前やその暮らしぶりを教えてもらいます。トンボ以外のさまざまな動植物についても観察します。どなたでも参加できますので、お気軽にどうぞ。

※当日は、池の周りを歩きながら観察します。

歩きやすい靴や帽子、飲み物などを用意してお越しください。

深泥池水生生物研究会(ホームページ:<http://mizoro.org>)・

深泥池自然観察会・深泥池を美しくする会

お問合せ:mizorogaike1997@yahoo.co.jp(深泥池水生生物研究会)

